

「一関遊水地見学会」を開催しました

○開催日時：平成27年8月22日（土）

○実施内容：遊水地展望台見学、大林水門（大林排水施設躯体工事）見学
遠隔バックホウ稼働実演、大型遠隔操縦式草刈機除草実演
排水ポンプ車稼働実演、「あいぽーと」施設見学

○参加者等：一関・平泉地域の住民の皆様 25名

昭和22、23年に来襲したカスリン・アイオン台風の水害を契機に計画された一関遊水地及びその周辺の治水対策事業が昭和47年度から進むにつれて、被害は徐々に軽減されてきました。

そこで、岩手河川国道事務所・一関市では、一関・平泉地域の住民の皆様を対象に、今の一関遊水地事業がどこまで進んだか、また治水の意義と治水対策事業への理解を深めていただく事を目的として、『一関遊水地見学会』を開催（今年で6回目）しました。

当日は、現在工事が進められている「大林水門」の現場見学や、遠隔バックホウや大型遠隔操縦式草刈機の操作体験、「あいぽーと」施設にある集中管理センターの見学等をおして、一関遊水地事業について学習しました。

参加者からは、越流堤の高さ、狐禅寺の川幅、大林水門工事に使われている矢板やコンクリート、など多数質問があり、一関遊水地事業への関心の高さが伺えました。

また「バックホウと草刈体験が楽しかった」「普段立ち入れない所も見学出来て勉強になった」「どんなに文明が進んでも自然の力にはかなわないが、備えることの大切さを学んだ」「職員の方や説明して下さった方々に好感・頼もしく思えた」「地域住民の安心・安全な暮らしのサポート、ご苦労様です」「国交省の仕事を見学出来て有意義な時間でした」「また参加したい」などの感想をいただきました。

『一関遊水地見学会』は来年度も開催予定です。



「あいぽーと」で出発式



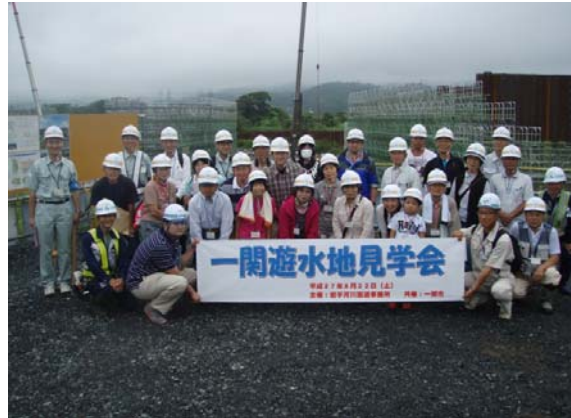
遊水地事業の概要説明



遊水地展望台から全景を眺める



大林水門の工事概要説明



参加者全員で記念撮影



遠隔バックホウの稼働実演



大型遠隔操縦式草刈機の稼働実演



排水ポンプの稼働実演



展望室から遊水地の説明



集中管理センターの説明



「あいぽーと」で修了式